

臨床研究のお知らせ（研究の公開）

本件は「オプトアウト」すなわち、同意不要であった既存データを用いた研修において、「自分のデータは使わないでほしい」という患者さんの拒否の機会を確保するため、研究の公開を名南ふれあい病院のホームページ（<https://www.meinan.or.jp/fureai/hospital>）上で一元的に行っているものです。

今回の研究に該当されることが予測され、「自分のデータは使わないでほしい」と希望されるかたは、下記の問い合わせ先へその旨ご連絡ください。

研究課題名	失語症の有無が回復期リハビリテーション病棟における ADL 改善に及ぼす影響
対象者	2020/4/1（水）～2023 年 3/31（金）の期間、回復期リハ病棟に連続入棟した成人脳卒中患者 除外： ・入院時 FIM 総得点 20 点以下、76 点以上、入院時 FIM 認知項目 24 点以下 年齢 80 歳以上（FIM 実績指数に基づく） ・重度意識障害 ・重篤な併存疾患でリハが中断、早期転棟した患者など
総研究期間	2020/4/1（水）～2023 年 3/31（金）
利用目的	回復期リハビリテーション病棟に入棟した脳卒中患者を対象に失語症の有無および重症度が ADL（FIM 運動項目）に及ぼす影響を作業療法の視点から明らかにすることである。特に失語症により「指示理解」「手順の把握」「状況の共有」など作業遂行上の認知言語的プロセスが阻害され、ADL 学習がどのように変化するかを、運動麻痺や認知機能、病型など主要な交絡因子を調整した上で検討する。
情報の他の研究機関への提出	中部大学
情報の項目	年齢、性別、病型（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）、病変側・病変部位、発症から入棟の日数、入棟時 FIM-Moter（最重要因子）、運動麻痺の重症度（FMA-UE/LE または SIAS 合計点）認知機能（MMSE-J または MoCA）、半側空間無視（BIT）、嚥下・栄養（FOIS、経管栄養の有無、Alb、BMI）、在棟日数、リハビリテーション実施量（PT/OT/ST の総単位）
研究機関（研究組織）	名南ふれあい病院
個人情報の取扱い	【名南ふれあい病院個人情報保護方針】 https://www.meinan.or.jp/fureai/privacy
結果の公開等	学会発表（例：日本作業療法学会・高次脳機能障害学会等）、査読付き学術誌（回復期脳卒中リハ関連誌）への投稿を予定する。 個人が特定される情報は含めず、集計値・推定量のみを公表する
問い合わせ先	医療法人名南会 名南ふれあい病院 〒457-0841 愛知県名古屋市中区豊田五丁目 15 番 18 号 TEL) 052-691-0041 FAX) 052-692-5732 責任者氏名 岡根 誠 竹内 さやか 情報管理者氏名 石田 愛子 研究担当者氏名 永谷 太一